

大阪市立大学大学院工学研究科

医工・生命工学教育研究センター：

BMEC BioMedical Engineering Center

第9回 セミナー

日時

2020年

10月19日(月) 17:10～18:50

場所

工学部 大講義室

「機能性ペプチド修飾型エクソソームを基盤とした
薬物送達技術の開発」

中瀬 生彦 先生
博士（薬学）

大阪府立大学大学院理学系研究科
生物科学専攻 細胞機能制御化学 教授
(兼任) 大阪府立大学 研究推進機構
21世紀科学研究センター
LAC-SYS研究所 所長補佐

生体を構成する殆ど全ての細胞が分泌するエクソソームは、細胞膜で形成された小胞（直径30～200 nm）であり、microRNAや酵素等の生理活性分子が内包されている。エクソソームは疾患診断に加えて、その薬学的な優位性により次世代の薬物送達ツールとしても世界的に大きく注目されている。我々は、機能性ペプチド修飾型エクソソームを基盤とした細胞内導入技術の開発を展開しており、マクロピノサイトーシス誘導や移行促進、がん受容体を介した細胞標的、細胞内でエクソソーム内包薬物の効率的なサイトゾル放出等の薬物送達に役立つ新たな機能付加に成功している。本講演では、これまでに得られた基盤技術・知見の紹介と、基礎研究・疾患治療への応用に関する議論を行う。

[問い合わせ先]

大阪市立大学大学院工学研究科

医工・生命工学教育研究センター センター長 白藤

TEL : 06-6605-2681 e-mail: shirafuji@osaka-cu.ac.jp